

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B1)

(11) 特許番号

特許第5685654号

(P5685654)

(45) 発行日 平成27年3月18日(2015.3.18)

(24) 登録日 平成27年1月23日(2015.1.23)

(51) Int.Cl. F I
G06Q 50/10 (2012.01) G06Q 50/10 1 0 0
G06Q 30/04 (2012.01) G06Q 30/04

請求項の数 3 (全 20 頁)

(21) 出願番号	特願2013-557960 (P2013-557960)	(73) 特許権者	000233491
(86) (22) 出願日	平成25年6月5日(2013.6.5)		株式会社日立システムズ
(86) 国際出願番号	PCT/JP2013/065578		東京都品川区大崎一丁目2番1号
審査請求日	平成25年12月20日(2013.12.20)	(74) 代理人	110000062
早期審査対象出願			特許業務法人第一国際特許事務所
前置審査		(72) 発明者	奥田 哲
			東京都品川区大崎一丁目2番1号 株式会
			社日立システムズ内
		(72) 発明者	永野 太
			東京都品川区大崎一丁目2番1号 株式会
			社日立システムズ内
		(72) 発明者	相原 延行
			東京都品川区大崎一丁目2番1号 株式会
			社日立システムズ内
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ポータルサイトシステム及びポータルサイトシステムを用いたアプリケーション、コンテンツ、サービスの利用方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のアプリケーション、コンテンツ、サービスを提供する複数のベンダサーバと、利用者のクライアント端末とがネットワークを介して接続可能なポータルサイトシステムであって、

当該ポータルサイトシステムは、Webサーバ、DBサーバ、実績収集サーバを備えており、

前記Webサーバは、利用者情報登録部と、利用手続変換・送信部と、利用者認証部とを備え、

前記DBサーバは、前記クライアント端末から送信された利用者情報を格納する利用者情報DBと、利用手続変換ルール情報を格納する利用手続変換ルール情報DBと、利用実績を格納する利用実績情報DBを備え、

前記実績収集サーバは、実績収集システムを格納しており、

前記Webサーバの前記利用者情報登録部は、利用者が前記クライアント端末から利用者情報を送信すると、前記クライアント端末から送られた利用者情報を前記利用者情報DBに登録するとともに、前記Webサーバの前記利用手続変換・送信部が、前記利用手続変換ルール情報DBに格納された利用手続変換テーブルに定義された前記利用手続変換ルール情報に従って利用者情報を変換して前記ベンダサーバの各サーバに送信して、各ベンダサーバ内にも利用者情報として記憶するように構成しており、

前記ポータルサイトシステムが、前記ポータルサイトシステムの前記利用者情報DB内

10

20

の利用者情報に基づいて当該ポータルサイトにアクセスした利用者を特定し、当該特定された利用者が前記ポータルサイトシステムで提供するアプリケーション、コンテンツ、サービスを選択した際、前記ベンダサーバは、各ベンダサーバ内に記憶された利用者情報により、アプリケーション、コンテンツ、サービスの利用可否を確認して利用者とベンダとの間で利用手続き処理を実行し、

前記ポータルサイトシステムの前記実績収集システムは、利用者が選択したアプリケーション、コンテンツ、サービスの利用履歴を前記各ベンダサーバから利用実績として収集し、収集した利用実績に基づいて各ベンダサーバに対する費用を算出して各ベンダサーバに対する費用の分配処理を実行することを特徴とするポータルサイトシステム。

【請求項 2】

前記実績収集システムは、無償のアプリケーション、コンテンツ、サービスに対して利用実績に応じた回収費（アフィリエイト）を算出し、ベンダに対して回収費の要求処理を実行することを特徴とする請求項 1 記載のポータルサイトシステム。

【請求項 3】

請求項 1 記載の Web サーバと、DB サーバと、実績収集サーバとを備えたポータルサイトシステムを用いて、複数のベンダサーバが提供するアプリケーション、コンテンツ、サービスを利用者のクライアント端末から利用する方法であって、以下のステップから構成されたことを特徴とするアプリケーション、コンテンツ、サービスの利用方法。

（a）サービス初期利用時において、利用者が前記クライアント端末から利用者情報を前記 Web サーバに送信するステップ。

（b）前記 Web サーバの利用者情報登録部が、前記クライアント端末から送られた利用者情報を利用者情報 DB に登録するステップ。

（c）前記 Web サーバの利用者情報登録部により、利用者に対して本人確認を行うステップ。

（d）利用手続変換・送信部により、利用手続変換ルール DB に格納した利用手続変換ルールテーブルに定義したルールに従って、利用者情報を変換して前記ベンダサーバの各サーバに送信するステップ。

（e）前記ベンダサーバの各サーバの利用手続き処理部によって、各サーバの利用者情報 DB にも利用者情報を登録するステップ。

（f）サービス利用時において、利用者の前記クライアント端末から利用者情報をポータルサイトに送信するステップ。

（g）前記 Web サーバの利用者特定部が利用者を特定し、利用者が契約したサービス内容を取得するとともに、変換した利用者情報を利用手続変換・送信部から前記ベンダサーバの各サーバの利用手続き処理部に送信し、前記ベンダサーバ内に登録された前記利用者情報により利用可否を確認し、利用者の前記クライアント端末から前記ベンダサーバの各サーバの利用を可能にするステップ。

（h）利用者は、希望するアプリケーション、コンテンツあるいはサービスを選択して利用を開始するステップ。

（i）前記各ベンダサーバの機能処理部は、利用者が利用した種別確認、すなわち、各ベンダが提供するアプリケーション、コンテンツあるいはサービスのうち、どの種別のアプリケーション、コンテンツあるいはサービスを選択したかを確認し、利用者が選択したアプリケーション、コンテンツあるいはサービスの実施結果を前記 Web サーバに送信するステップ。

（j）前記実績収集サーバの実績収集システムにより、利用者が選択したアプリケーション、コンテンツあるいはサービスの利用履歴を分析して利用実績として収集し、収集した利用実績に基づいて前記ベンダサーバに対する費用を算出して各ベンダサーバに対する費用の分配処理を実行するステップ。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、各種アプリケーション、コンテンツ、サービスなどの利用に関するリンクを備えたポータルサイト、特にポータルサイトで提供されたアプリケーション、コンテンツ、サービスを利用する際の課金を含む利用手続きの簡略化が可能なポータルサイトシステムに関する。

【背景技術】

【0002】

近年、ネットワークを介してユーザが利用できるサービスが多様化しており、例えば、電子書籍や音楽、映画などのコンテンツや各種アプリケーションあるいは宿泊施設などの予約といった各種サービスをウェブサイトで利用する場合、これらのアプリケーション、コンテンツ、サービスをまとめて利用者に提示するポータルサイトが知られている。例えば特許文献1には、アプリケーションを提供する複数のベンダのサーバ装置と接続されるとともに、利用者（ユーザ）のクライアント装置と接続可能なポータルサイト提供装置が提案されている。このポータルサイト提供装置は、利用者がポータルサイトへ利用するための手続きとして認証を得ると、利用者がポータルサイトからアプリケーションを利用する際、ポータルサイトからアプリケーションの提供ベンダへ利用者の認証データが送信される。すなわち、利用者がポータルサイトとの利用手続きを行えば、ポータルサイト内で提供されるアプリケーションとの個別の利用手続きが省略されるシステムである。

10

【0003】

また、特許文献2にはユーザのパソコンがインターネットのようなネットワークを介してアプリケーションサービスプロバイダ（ASP：Application Service Provider）に接続され、アプリケーションの評価版にアクセス可能な期間を設定することによって試用期間内では課金が発生せず、試用期間を過ぎても利用を希望する利用者のみ製品版のライセンスを支払うことによってアプリケーションの使用を認証するアプリケーション実行システムも知られている。

20

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】特開2002-175436号公報

【特許文献2】特開2007-286899号公報

【特許文献3】特許第367960号公報

30

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

特許文献1に示すポータルサイト提供装置などにおいて、有償のアプリケーションを利用する場合、課金が前提であるが、例えばアプリケーションを使用した後、不必要だと判断して途中、止めたとしても正規の課金が発生する場合がある。

【0006】

特許文献2に示すアプリケーション実行システムは、評価版にアクセス可能な期間を設定することで試用期間内では課金が発生せず、試用期間を過ぎても利用を希望する利用者のみ製品版のライセンスを支払うことによってアプリケーションに対する認証が行われるため、使用当初では課金は発生しないが例えば映画や音楽などの有償コンテンツにおいては、視聴途中で必ず、利用するかしないかを利用者が選ぶ必要があり操作が煩雑である。さらに、アプリケーションの評価版は機能の一部が制限されたものが一般的であるため、利用者の利便性も劣る面がある。

40

【0007】

また、例えば特許文献3に示すように、利用者の使用量に応じて利用者への支払額を決定するシステムも知られているが、特許文献3は、スキャナ、プリンタ、コピー、ファックス機能一体型の複合機などの処理を制御するプログラムが搭載された画像形成装置において、カウンタを用いて前記プログラムごとに使用量を管理する使用量管理手段を備え、例えば、画像加工アプリケーションを用いてコピーを行うという所定動作の使用量として

50

カウントして管理し、そのデータをアプリケーションベンダに対してネットワークを介して送信することによってアプリケーションの使用量に応じた課金を利用者に対して知らせるようにした画像形成装置における制御プログラムであって、前述したような多種多様なアプリケーション、コンテンツ、サービスなどの利用に関するリンクを備えたポータルサイトには容易に転用することができず、ポータルサイトで提供されたアプリケーション、コンテンツ、サービスを利用する際の課金処理を含む利用手続き処理の簡略化が望まれていた。

【0008】

そこで、本発明は、各種アプリケーション、コンテンツ、サービスなどを利用するリンクを備えたポータルサイトにおいて、アプリケーション、コンテンツ、サービスを利用する際の利用手続きや課金処理を含む手続きを簡略して利便性を高めることができるポータルサイトシステムを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0009】

本発明によるポータルサイトシステムは、上記課題を解決するために、以下のような構成を採用した。

【0010】

即ち、本発明のポータルサイトシステムは、複数のアプリケーション、コンテンツ、サービスを提供する複数のベンダサーバと、利用者のクライアント端末とがネットワークを介して接続可能なポータルサイトシステムであって、当該ポータルサイトシステムは、Webサーバ、DBサーバ、実績収集サーバを備えており、前記Webサーバは、利用者情報登録部と、利用手続変換・送信部と、利用者認証部とを備え、前記DBサーバは、前記クライアント端末から送信された利用者情報を格納する利用者情報DBと、利用手続変換ルール情報を格納する利用手続変換ルール情報DBと、利用実績を格納する利用実績情報DBを備え、前記実績収集サーバは、実績収集システムを格納しており、前記Webサーバの前記利用者情報登録部は、利用者が前記クライアント端末から利用者情報を送信すると、前記クライアント端末から送られた利用者情報を前記利用者情報DBに登録するとともに、前記Webサーバの前記利用手続変換・送信部が、前記利用手続変換ルール情報DBに格納された利用手続変換テーブルに定義された前記利用手続変換ルール情報に従って利用者情報を変換して前記ベンダサーバの各サーバに送信して、各ベンダサーバ内にも利用者情報として記憶するように構成しており、前記ポータルサイトシステムが、前記ポータルサイトシステムの前記利用者情報DB内の利用者情報に基づいて当該ポータルサイトにアクセスした利用者を特定し、当該特定された利用者が前記ポータルサイトシステムで提供するアプリケーション、コンテンツ、サービスを選択した際、前記ベンダサーバは、各ベンダサーバ内に記憶された利用者情報により、アプリケーション、コンテンツ、サービスの利用可否を確認して利用者とベンダとの間で利用手続き処理を実行し、前記ポータルサイトシステムの前記実績収集システムは、利用者が選択したアプリケーション、コンテンツ、サービスの利用履歴を前記各ベンダサーバから利用実績として収集し、収集した利用実績に基づいて各ベンダサーバに対する費用を算出して各ベンダサーバに対する費用の分配処理を実行することを特徴とする。

【0011】

また、本発明のポータルサイトシステムは、前記実績収集システムは、無償のアプリケーション、コンテンツ、サービスに対して利用実績に応じた回収費（アフィリエイト）を算出し、ベンダに対して回収費の要求処理を実行することを特徴とする。

【0012】

また、本発明のWebサーバと、DBサーバと、実績収集サーバとを備えたポータルサイトシステムを用いて、複数のベンダサーバが提供するアプリケーション、コンテンツ、サービスを利用者のクライアント端末から利用する方法であって、以下のステップから構成されたことを特徴とするアプリケーション、コンテンツ、サービスの利用方法。

(a) サービス初期利用時において、利用者が前記クライアント端末から利用者情報を前

10

20

30

40

50

記Webサーバに送信するステップ。

(b) 前記Webサーバの利用者情報登録部が、前記クライアント端末から送られた利用者情報を利用者情報DBに登録するステップ。

(c) 前記Webサーバの利用者情報登録部により、利用者に対して本人確認を行うステップ。

(d) 利用手続変換・送信部により、利用手続変換ルールDBに格納した利用手続変換ルールテーブルに定義したルールに従って、利用者情報を変換して前記ベンダサーバの各サーバに送信するステップ。

(e) 前記ベンダサーバの各サーバの利用手続処理部によって、各サーバの利用者情報DBにも利用者情報を登録するステップ。

(f) サービス利用時において、利用者の前記クライアント端末から利用者情報をポータルサイトに送信するステップ。

(g) 前記Webサーバの利用者特定部が利用者を特定し、利用者が契約したサービス内容を取得するとともに、変換した利用者情報を利用手続変換・送信部から前記ベンダサーバの各サーバの利用手続処理部に送信し、前記ベンダサーバ内に登録された前記利用者情報により利用可否を確認し、利用者の前記クライアント端末から前記ベンダサーバの各サーバの利用を可能にするステップ。

(h) 利用者は、希望するアプリケーション、コンテンツあるいはサービスを選択して利用を開始するステップ。

(i) 前記各ベンダサーバの機能処理部は、利用者が利用した種別確認、すなわち、各ベンダが提供するアプリケーション、コンテンツあるいはサービスのうち、どの種別のアプリケーション、コンテンツあるいはサービスを選択したかを確認し、利用者が選択したアプリケーション、コンテンツあるいはサービスの実施結果を前記Webサーバに送信するステップ。

(j) 前記実績収集サーバの実績収集システムにより、利用者が選択したアプリケーション、コンテンツあるいはサービスの利用履歴を分析して利用実績として収集し、収集した利用実績に基づいて前記ベンダサーバに対する費用を算出して各ベンダサーバに対する費用の分配処理を実行するステップ。

【発明の効果】

【0013】

本発明は、ポータルサイトシステムに対して契約が成立した利用者に対し、単一のポータルサイトから、複数のアプリケーション、コンテンツ、サービスが受けられるようになり、各ベンダとの個別の利用手続きが不要である。また、ポータルサイトシステム側から各ベンダに利用実績に応じた分配（インセンティブ）又は回収（アフィリエイト）処理が実行されるため、各ベンダに対して個別に課金手続きやその解約手続きする必要もない。さらに、例えばアプリケーションなどを使用する際、機能が制限された評価版ではなく正規版と同じ機能のアプリケーションを使用することができるとともに、途中で使用を止めたとしてもその費用は利用実績に応じて算出されるため、合理的であり利便性も高い。

【図面の簡単な説明】

【0014】

【図1】図1は、本発明の一実施例を示すポータルサイトシステムを含んだシステム全体の概略構成図である。

【図2】図2は、同上、サービス初期利用時におけるシステムの構成図である。

【図3】図3は、同上、サービス初期利用時の処理を示すフローチャートである。

【図4】図4は、同上、使用者情報テーブルの一例を示す説明図である。

【図5】図5は、同上、利用手続変換ルールテーブルの一例を示す説明図である。

【図6】図6は、同上、サービス利用時におけるシステムの構成図である。

【図7】図7は、同上、サービス利用時の処理を示すフローチャートである。

【図8】図8は、同上、サービス利用終了時におけるシステムの構成図である。

【図9】図9は、同上、サービス利用終了時の処理を示すフローチャートである。

【図 1 0】図 1 0 は、同上、ログ標準化システムの構成図である。

【図 1 1】図 1 1 は、同上、利用実績情報処理を示すフローチャートである。

【図 1 2 A】図 1 2 A は、同上、書籍コンテンツのログ情報テーブルの一例を示す説明図である。

【図 1 2 B】図 1 2 B は、同上、予約サービスのログ情報テーブルの一例を示す説明図である。

【図 1 2 C】図 1 2 C は、同上、提供情報アプリのログ情報テーブルの一例を示す説明図である。

【図 1 3】図 1 3 は、同上、ログ変換情報テーブルの一例を示す説明図である。

【図 1 4 A】図 1 4 A は、同上、書籍コンテンツの分析ログ情報テーブルの一例を示す説明図である。

10

【図 1 4 B】図 1 4 B は、同上、予約サービスの分析ログ情報テーブルの一例を示す説明図である。

【図 1 4 C】図 1 4 C は、同上、提供情報アプリの分析ログ情報テーブルの一例を示す説明図である。

【図 1 5】図 1 5 は、同上、重み付け情報テーブルの一例を示す説明図である。

【図 1 6】図 1 6 は、同上、利用実績の検索システムを含む構成図である。

【図 1 7】図 1 7 は、同上、利用実績の確認処理を示すフローチャートである。

【図 1 8】図 1 8 は、同上、費用分配・回収システムを示す構成図である。

【図 1 9】図 1 9 は、同上、費用分配・回収処理を示すフローチャートである。

20

【図 2 0】図 2 0 は、同上、利用実績テーブルの一例を示す説明図である。

【図 2 1】図 2 1 は、同上、分析結果テーブルの一例を示す説明図である。

【図 2 2】図 2 2 は、同上、金額変換情報テーブルの一例を示す説明図である。

【図 2 3】図 2 3 は、同上、回収費用情報テーブルの一例を示す説明図である。

【図 2 4】図 2 4 は、同上、分配費用情報テーブルの一例を示す説明図である。

【図 2 5】図 2 5 は、同上、利用実績・費用の検索システムを含む構成図である。

【図 2 6】図 2 6 は、同上、利用実績・費用の参照処理を示すフローチャートである。

【発明の実施の形態】

【0015】

以下、図面に基づいて本発明のポータルサイトシステムの一実施例について説明する。図 1 は本発明のポータルサイトシステム 1 の概略構成図を示しており、同図に示すように、ポータルサイトシステム 1 は、複数のベンダのサーバ 2 A, 2 B, 2 C と利用者のクライアント端末 3 とがネットワーク 4 を介して接続され、各ベンダが提供するアプリケーション、コンテンツ、サービスへ利用者を誘導する。前記ベンダの各サーバ 2 A, 2 B, 2 C は、各ベンダが提供するアプリケーション、コンテンツ、サービスに応じた制御プログラム 5 が格納されるとともに、利用者情報、コンテンツ情報、ログ情報を格納するデータベース（以下、DB という）6, 7, 8 などを備えている。なお、図 1 の概略構成図では、アプリケーションベンダの具体的構成を示しており、コンテンツベンダ、サービスベンダの具体的構成については省略しているが、コンテンツベンダ、サービスベンダについても、それを提供するコンテンツやサービスを動作させるプログラム、利用者情報、コンテンツ情報、ログ情報を格納する DB（図示しない）を備えている。

30

40

【0016】

ポータルサイトシステム 1 は、Webサーバ 10、DBサーバ 20、実績収集サーバ 40 を備えている。また、前記 Webサーバ 10 にはポータルサーバ 11 を備えており、DBサーバ 20 には利用者情報を格納する DB 21、利用手続き変換ルール情報を格納する DB 22、利用実績情報を格納する DB 23、金額変換情報を格納する DB 24、重み付け情報を格納する DB 25、利用実績分析結果情報を格納する DB 26、回収費用情報を格納する DB 27、分配費用情報を格納する DB 28、ログ変換情報を格納する DB 29 と、ログ変換した標準のログ情報を格納する DB 30（DB 29、30 は図 10 参照）を備え、実績収集サーバ 40 には、実績収集システム 41 が格納されている。

50

【0017】

前記利用者のクライアント端末3は、通常のパーソナルコンピュータやノート型パーソナルコンピュータあるいはPDA、携帯電話、スマートフォン、タブレット型端末などを含み、少なくともネットワーク4を介してポータルサーバ11に情報を送信する通信機能と、ポータルサーバ11や提供ベンダの各サーバ2A, 2B, 2Cからの情報を表示するディスプレイなど表示機能及びキーボードやポインティングデバイスあるいはタッチパネルなどの入力機能を備えている。これら通信機能、表示機能、入力機能については後述する。

【0018】

次に図2の構成図、図3のフローチャートを参照してサービス初期利用時の処理について説明する。サービス初期利用時において、利用者がクライアント端末3の利用者情報送信部31（通信機能）から利用者情報を送信すると（ステップS1）、Webサーバ10の利用者情報登録部50はクライアント端末3から送られる利用者情報を使用者情報DB21に格納された使用者情報テーブルTに登録する（ステップS2）。図4は使用者情報テーブルTの一例を示しており、使用者情報テーブルTには利用者コード、利用者氏名、手続き情報1～手続き情報nとして利用者の住所、年齢、使用OS、暗号利用の有無、所属会社名、ベンダが提供するサービス1～サービスnに対する使用状態、利用者の契約状態、削除フラグ、ログイン日時、ログアウト日時、端末識別コード、ログイン状態、使用開始日時、利用終了日時などのデータが記憶されている。利用者情報登録部50では利用者に対して契約可否を確認する。例えば法人会員であれば法人会員情報と照合して使用者の所属状態を確認する。また、過去の実績などによって利用制限があるかを確認し（ステップS3）、本人確認を行う（ステップS4）。利用者情報登録部50で本人確認証されない場合、利用者情報登録部50は前記使用者情報テーブルTを変更し、利用者の削除フラグを設定する（ステップS5）。一方、ステップS4で本人確認されると、DBサーバ11の利用手続き変換ルールDB22に格納した利用手続き変換ルールテーブル10Tに定義したルールに従って利用手続き変換・送信部51で利用者情報を変換して提供ベンダの各サーバ2A, 2B, 2Cに送信する（ステップ6）。利用手続き変換ルールテーブル10Tは、各提供ベンダへの利用手続き処理を行う際のルールを定義するための情報が記憶されており、その一例を図5を参照して説明すると、利用手続き変換ルールテーブル10Tには、ベンダが提供するアプリケーション名（以下、単にアプリ名と称する）、利用手続きの変換ルールを示す変換番号、利用者の手続き情報、型属性（文字列又は数字）及びその桁数などのデータが記憶されている。このように、利用手続き変換ルールテーブル10Tに従って変換した利用者情報は利用手続き変換・送信部51から提供ベンダの各サーバ2A, 2B, 2Cは利用者情報が送信され、各サーバ2A, 2B, 2Cの利用手続き処理部60によって各サーバ2A, 2B, 2Cの利用者情報DB6に利用者情報が登録される（ステップ7）。また、サーバ2A, 2B, 2Cの利用手続き処理部60は利用者情報DB6に登録された利用者情報をWebサーバ10の利用者認証部52に送信し、DBサーバ11の利用者情報DB21に利用フラグを設定する（ステップ8）。そして、利用者認証部52から利用者のクライアント端末3に登録完了通知を送信することによって、利用者のクライアント端末3の利用者認証結果表示部32（表示機能）に登録完了通知が表示される（ステップ9）。

【0019】

以上のように利用者がポータルサイトとの契約が完了すると、ポータルサイトが提供する各種のアプリケーション、コンテンツ、サービスが受けられるようになる。このサービス利用時における処理について主に図6の構成図及び図7のフローチャートを参照して説明する。サービス利用時において、利用者のクライアント端末3の利用者情報送信部31から利用者情報をポータルサイトに送信すると（ステップS10）、利用者特定部53は使用者情報DB21の利用者情報テーブルTを検索して利用者を特定し、利用者が契約したサービス内容を取得（ステップS11）するとともに、利用手続き変換ルールDB22に格納した利用手続き変換ルールテーブル10Tに従って変換した利用者情報を利用手続き変換

10

20

30

40

50

・送信部 51 から提供ベンダの各サーバ 2A, 2B, 2C の利用手続き処理部 60 に送信する (ステップ S12)。利用手続き処理部 60 は、ベンダの利用者情報 DB6 の利用者情報テーブル T から該当する利用者情報を検索し、利用者が利用可能なアプリあるいはコンテンツ、サービスを抽出して利用可否を確認する (ステップ S13)。また、利用手続き処理部 60 は使用可能なアプリの情報を Webサーバ 10 の利用者認証部 52 に送り、利用者認証部 52 から利用者クライアント端末 3 の結果表示部 35 に利用可能なアプリ・サービス名を出力して利用者に通知する (ステップ S14)。これにより、利用者は希望するアプリあるいはコンテンツ、サービスを選択して操作入力部 34 を操作して利用を開始する (ステップ S15)。操作入力部 34 からの情報は、提供ベンダの機能処理部 61 に出力され、機能処理部 61 によりアプリあるいはコンテンツ、サービス毎のプログラムに従った処理を実行し、この操作ログは利用情報として Webサーバ 10 の利用実績受付部 55 に送信する (ステップ S16)。利用実績受付部 55 は利用実績を受け付けて利用手続変換ルールテーブル 10T に従って変換した利用情報を受け付け (ステップ S17)、利用実績情報 DB23 に登録する (ステップ S18)。また、機能処理部 61 は種別確認、すなわち、利用者はベンダが提供するアプリ、コンテンツ、サービスのうち、どの種別を選択したかを確認し (ステップ S19)、利用者がアプリを選択した場合、機能処理部 61 はアプリの実施結果を送信し (ステップ S20)、アプリの処理結果を利用者クライアント端末 3 の結果表示部 35 に表示する (ステップ S21)。一方、利用者がサービスを選択した場合、サービスの受付結果を送信し (ステップ S22)、サービスの処理結果を利用者クライアント端末 3 の結果表示部 35 に表示 (ステップ S21) するとともに、ベンダ端末 70 のサービス受付部 71 は、利用者クライアント端末 3 からの操作入力内容をサービスとして受け付け (ステップ S23)、サービス結果送信部 72 はサービス実施結果を送信し (ステップ S24)、サービスの提供結果を利用者クライアント端末 3 の結果表示部 35 に表示する (ステップ S25)。

【0020】

サービス利用終了時の処理について図 8 の構成図、図 9 のフローチャートを参照して説明する。サービス利用終了時は、利用者のクライアント端末 3 から利用者情報を入力し (ステップ S30)、利用者情報送信部 31 により Webサーバ 10 に送信すると、利用者特定部 53 は利用者情報から利用者情報 DB21 の利用者情報テーブル T を検索して利用者を特定し、利用者が契約したサービス内容を取得する (ステップ S31)。また、利用手続変換・送信部 51 は、利用手続変換ルールテーブル 10T の変換ルールに従ってベンダへの終了手続きを実施する (ステップ S32)。ベンダの利用手続き処理部 60 は、ベンダの利用者情報 DB6 から利用者情報を削除 (ステップ S33) する。また、ポータルサイトの利用者認証部 52 は、利用者情報 DB21 の利用者情報テーブル T から該当するサービスを削除し (ステップ S34)、利用者情報テーブル T を変更して削除フラグを設定し (ステップ S35)、利用者クライアント端末 3 の利用者認証結果表示部 32 に削除完了を表示させる (ステップ S36)。

【0021】

次に実績収集システム 41 について説明する。実績収集システム 41 は提供ベンダからのログを分析し、利用者の利用実績をポイントとして数値化するためのシステムである。

【0022】

使用者がアプリケーション・コンテンツあるいはサービスを利用する際、その使用履歴として残るログは各サーバ 2A, 2B, 2C のログ記憶部 8A によってログ情報 DB8 に記憶されるが、これらのログは各ベンダごとに異なるとともに、各ベンダが提供するアプリケーション・コンテンツ・サービスといった種別によってもそれぞれ異なるため、実績収集システム 41 はベンダの各サーバ 2A, 2B, 2C のログ送信部 8B から送られるログを統一したフォーマットに変換して標準化した後、ログを分析し、利用者の利用実績をポイントとして数値化する。このログを標準化するための処理について説明すると、図 10 の構成図に示すように、実績収集システム 41 は、ログ受付部 80、ログ変換部 81、ログ種別分析部 82、重み付け部 83、利用実績記憶部 84 を備えており、各ベンダの D

B 8 のログ記憶部 8 A に格納された利用ログがログ送信部 8 B によって前記実績収集システム 4 1 のログ受付部 8 0 に送られ、ログ変換部 8 1 による標準化してから利用実績をポイントとして数値化し、これを利用実績情報 D B 2 3 に格納している。この一連の処理について図 1 1 のフローチャートを参照して説明する。

【0023】

まず、利用者が例えばアプリケーションを利用する際、その操作履歴がログとして残る。このログは図 1 2 A, 図 1 2 B, 図 1 2 C に示すログ情報テーブル 2 0 T a ~ 2 0 T c としてアプリケーションサーバ 2 のログ情報 D B 8 に記憶され (ステップ S 4 0)、ログ送信部 8 B によってポータルサイトの D B サーバ 1 1 に送られる (ステップ S 4 1)。D B サーバ 1 1 に送られたログ情報は実績収集システム 4 1 のログ受付部 8 0 で受け付け (ステップ S 4 2)、ログ変換情報に基づいてログを標準に変換し、そのログ情報 (標準) をログ情報 D B 3 0 に格納する。このログを標準化する際のルールは図 1 3 に示すログ変換情報テーブル 3 0 T で定義した変換ルールに従って変換される。ログ変換情報テーブル 3 0 T は各ベンダや提供するアプリの種別毎に統一されていないログを利用機能ごとに分類するためのルールが定義されている。すなわち、ポータルサイトは多種多様なアプリケーション・コンテンツ・サービスを提供しており、有償のアプリケーション・コンテンツ・サービスの利用に際し、その提供ベンダへの使用料を支払う (インセンティブ)、例えば、各種の案内サービスや予約サービスなどの無償のサービスは、利用者がポータルサイトのリンクを経由して予約あるいは商品を購入すると、報酬 (アフィリエイト) がポータルサイトの事業者を支払われるケースもあるため、アプリケーション・コンテンツ・サービス毎にインセンティブかアフィリエイトかを分類するためのルールに定義している。このログ変換情報テーブル 3 0 T について一例を示すと、図 1 3 に示すように、ログ変換情報テーブル 3 0 T は、アプリ名、ルール種別、実績種別 (インセンティブ又はアフィリエイト)、種別 (書類名、予約種別、情報種別)、処理 (情報種別)、利用時間 (参照時間) などのデータが記憶され、実績収集システム 4 1 に集計されたログ情報はログ変換情報テーブル 3 0 T に定義されたルールに従って変換され、そのログ情報 (標準) が D B サーバ 1 0 のログ情報 D B 3 0 に蓄積される (ステップ S 4 3)。このようにして標準化されたログをログ種別分析部 8 2 によって分析し (ステップ S 4 4)、種別毎に分類して例えば図 1 4 A, 図 1 4 B, 図 1 4 C で示すように電子書籍などの書籍コンテンツや旅行や引っ越しなどの予約サービス、地図検索、ゲーム、観光案内、ルート案内などの提供アプリといった種別毎を分類し、これを分析ログ情報テーブル 4 0 T a ~ 4 0 T c に記憶する。さらに、利用実績に応じた分配額 (インセンティブ) 又は回収額 (アフィリエイト) を算出するために重み付け部 8 3 により重み付けを行い (ステップ S 4 5)、これを利用実績記憶部 8 4 により D B サーバ 1 1 の利用実績情報 D B 2 3 に記憶する。

【0024】

この重み付けは処理について詳述すると、本発明のポータルサイトは多種多様なアプリケーション・コンテンツ・サービスを提供しており、利用実績に応じ、ポータル事業者から提供ベンダにインセンティブとして支払われる分配額あるいは無償アプリケーション、コンテンツ、サービスに対して提供ベンダがポータル事業者にアフィリエイトとして支払われる回収額を算出する必要がある。本発明では、利用実績をポイントとして数値化し、分配額・回収額を算出しているが、利用実績をポイントとして数値化する場合、単に利用時間だけを評価の基準とした場合、例えば、電子書籍などにおいては、同じページ数を読んだとしても利用時間に個人差が生じるため、公平な評価で利用実績をポイントとして数値化するために、各アプリケーション、コンテンツ、サービスごとにルールを定義し、これを重み付け情報テーブル 5 0 T に記憶する。この重み付け情報テーブル 5 0 T の一例として、図 1 5 に示すように、アプリ名、情報種別 (例えば、電子書籍、ゲーム、乗換案内など)、処理種別 (電子書籍ではページの参照やページの変更、ゲームでは参照、乗換案内では検索など)、サービス番号、重み値、利用時間換算などのデータが記憶されている。図 1 5 では旅行に関する電子書籍として例えば「上海」の書籍を利用者が閲覧した際、あるページを参照した場合、重み値は「2」、ページ変更した場合、重み値は「1」とい

ったルールが予め定義されて、そのルールに従って利用実績がポイントとして数値化され、そのポイントに応じて分配額や回収額が算出される。

【0025】

このように数値化された利用実績は提供ベンダ側からも確認できる。すなわち、図16に示すように、各サーバ2A、2B、2Cのベンダ端末70には利用実績検索部73、利用実績表示部74を備え、実績収集サーバ40の実績収集システム41には利用実績問合せ受付部101、利用実績集計部102、利用実績送信部103を備えており、その利用実績を確認する際の処理について図17のフローチャートを参照して説明する。ベンダ端末70の利用実績検索部73に利用実績の検索条件を入力すると、実績収集システム41の利用実績問合せ受付部101に送信する(ステップS50、S51)。利用実績問合せ受付部101はDBサーバ11の利用実績情報DB23から検索条件に該当する利用実績を収集し(ステップS52)、収集した利用実績情報を利用実績送信部103からベンダ端末70に送信することによって、数値化された利用実績がベンダ端末70の利用実績表示部74に表示される(ステップS53、S54)。これにより、提供ベンダは利用実績に応じ、ポータル事業者から提供ベンダにインセンティブとして支払われる分配額あるいは無償アプリケーション、コンテンツ、サービスに対してアフィリエイトとして支払う回収額を確認することができる。

10

【0026】

また、本発明は利用者がポータルサイトの事業者と契約する際、定額性の課金システムを採用しており、ポータルサイトが提供するアプリケーション、コンテンツ、サービスを利用する際、料金は発生せず、使用者が選択したアプリケーションやコンテンツあるいはサービスを使用した際、その利用実績に応じて費用分配額(インセンティブ)又は費用回収額(アフィリエイト)を算出し、ポータルサイト事業者から各提供ベンダに対し費用分配又は費用回収処理を行うものであり、その費用分配・回収システムについて説明する。図18に示すように、実績収集サーバ40の実績収集システム41は、実施計画部88、利用実績抽出部89、回収・分配情報分析部90、利用実績送信部91、実績修正部92、回収算出部93、分配算出部99、利用情報・費用送信部100を備え、DBサーバ20の利用実績情報DB23には図20に示す利用実績情報を記憶した利用実績テーブル60Tが格納され、利用実績分析結果DB26には図21に示す分析結果テーブル70Tが格納されている。この分析結果テーブル70Tは前記利用実績テーブル60Tを分析して分配(インセンティブ)又は回収(アフィリエイト)に関する情報が記憶されている。また、金額変換情報DB24、回収費用情報DB27、分配費用情報DB28にはそれぞれ金額変換情報テーブル80T、回収費用情報テーブル90T、分配費用情報テーブル100Tがそれぞれ格納されている。金額変換情報テーブル80Tは、利用者が利用したアプリケーション、コンテンツあるいはサービスなどの利用実績に応じ分配額あるいは回収額を算出するための情報が記憶され、その一例として図22に示すように、種別(分配又は回収)、利用実績を数値化したポイント、そのポイントと分配額又は回収額との換算レート、対象年、月といったデータが記憶されている。この金額変換情報テーブル80Tの換算レートによって換算した分析結果は図23及び図24に示す回収費用情報テーブル90Tと分配費用情報テーブル100Tに反映されて記憶されている。また、ベンダ端末70には実績参照部73、実績承認部74、利用情報・費用表示部75を備えている。

20

30

40

【0027】

上記構成において各提供ベンダへの費用分配又は費用回収するための処理について図19のフローチャートを参照して説明する。まず、実施計画部88によりスケジューリングし、利用実績抽出部89によりスケジューリングした期間内の利用実績を抽出する(ステップS60、S61)。この利用実績の抽出においては利用実績情報DB23内の利用実績テーブル60T(図20参照)に利用実績情報が記憶され、検索条件として期間を指定することによって期間内の利用実績を抽出することができる。また、利用実績抽出部89によって実績(費用の分配又は回収)の種別を判定(ステップS62)し、分配費用と判定されると分配費用情報テーブル100Tの換算レートに基づいて分配算出部99によ

50

て分配費用を算出し（ステップS 6 3）、利用情報・費用送信部1 0 0によってベンダに分配費用を送信する（ステップS 6 4）。一方、ステップS 6 2で回収費用と判定される利用実績送信部9 1によってベンダにサービスの利用実績を送信する（ステップS 6 5）。ベンダは実績参照部7 3によってポータルサイトの事業者から送られるサービスの利用実績を参照して実績承認部7 4により利用実績の承認を得ると（ステップS 6 6）、実績収集サーバ4 0の実績修正部9 2に承認結果を送信する（ステップS 6 7）。この承認結果を受けて実績修正部9 2はサービス利用分を費用回収として記憶するとともに、回収算出部9 3により回収費用を算出し（ステップS 6 8、S 6 9）、利用情報・費用送信部1 0 0によってベンダに回収費用を送信して（ステップS 6 4）処理を完了する。

【0 0 2 8】

また、図2 5に示すように各サーバ2 A、2 B、2 Cのベンダ端末7 0には利用実績・費用検索部7 6、利用実績・費用表示部7 7を備え、実績収集サーバ4 0の実績収集システム4 1には利用情報受付部1 1 0、利用情報・費用抽出部1 1 1、利用情報・費用送信部1 1 2を備えており、ベンダ端末7 0からポータルサイトの実績収集サーバ4 0に利用実績と、それに応じた費用を参照することができ、その参照する際の処理について図2 6のフローチャートを参照して説明する。

【0 0 2 9】

ベンダ端末7 0の利用実績・費用検索部7 6に検索条件として利用情報・費用を入力して利用情報受付部1 1 0に送信すると（ステップS 7 0）、実績収集サーバ4 0の利用情報受付部1 1 0は検索条件に基づいて利用情報・費用抽出部1 1 1によってDBサーバ1 1の利用実績分析結果DB 2 6、回収費用情報DB 2 7、分配費用情報DB 2 8から検索条件に該当する利用実績・回収費用・分配費用を抽出し（ステップS 7 1、S 7 2）、抽出した利用実績・回収費用・分配費用を利用情報・費用送信部1 1 2からベンダ端末7 0の利用実績・費用表示部7 7に送信することによって（ステップS 7 3）、ベンダ端末7 0の利用実績・費用表示部7 7から利用実績と、それに応じた費用を表示される（ステップS 7 4）。これにより、提供ベンダは利用実績に応じてポータルサイト事業者から提供ベンダにインセンティブとして支払われる分配費用あるいは無償アプリケーション、コンテンツ、サービスに対してポータル事業者から提供ベンダにアフィリエイトとして請求される回収費用を確認することができる。

【0 0 3 0】

以上のように、本発明のポータルサイトシステム1は、ポータルサイトシステム1に対して利用手続きが完了して契約が成立した利用者に対し、単一のポータルサイトから、複数のアプリケーション、コンテンツ、サービスが受けられるようになり、各ベンダとの個別の利用手続きが不要である。また、ポータルサイトの事業者から各ベンダに利用実績に応じた分配（インセンティブ）又は回収（アフィリエイト）処理が実行されるため、利用者がポータルサイトシステム1に対して定額の料金を支払う契約形態とすれば各ベンダに対して個別に課金手続きやその解約手続きする必要もない。さらに、例えばアプリケーションなどを使用する際、機能が制限された評価版ではなく正規版と同じ機能のアプリケーションを使用することができるとともに、途中で使用を止めたとしてもその費用は利用実績に応じて算出されるため、合理的であるとともに、例えば海外向けの各種検索サービスや予約サービスやルート案内あるいは海外向けアプリをパッケージした携帯端末をポータルサイトが用意し、これを利用者に貸与する契約形態とすれば、例えば海外出張や海外旅行などに際し、使用者が現地でこれらのサービスを探すといった手間もかからず、利便性も高い。

【符号の説明】

【0 0 3 1】

- 1 ポータルサイトシステム
- 3 クライアント端末
- 4 インターネット（ネットワーク）
- 6 利用者情報DB

- | | |
|------------|--------------------|
| <u>1 0</u> | <u>Webサーバ</u> |
| <u>2 0</u> | <u>DBサーバ</u> |
| 2 2 | 利用手続きルールDB |
| 2 3 | 利用実績DB |
| <u>4 0</u> | <u>実績収集サーバ</u> |
| 4 1 | 実績収集システム |
| <u>5 0</u> | <u>利用者情報登録部</u> |
| <u>5 1</u> | <u>利用手続き変換・送信部</u> |
| <u>5 2</u> | <u>利用者認証部</u> |
| 6 0 | 利用手続き処理部 |

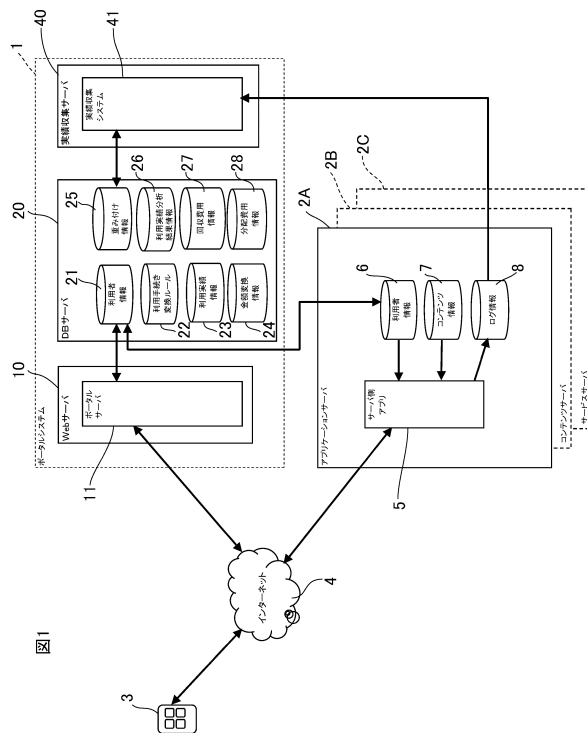
10

【要約】

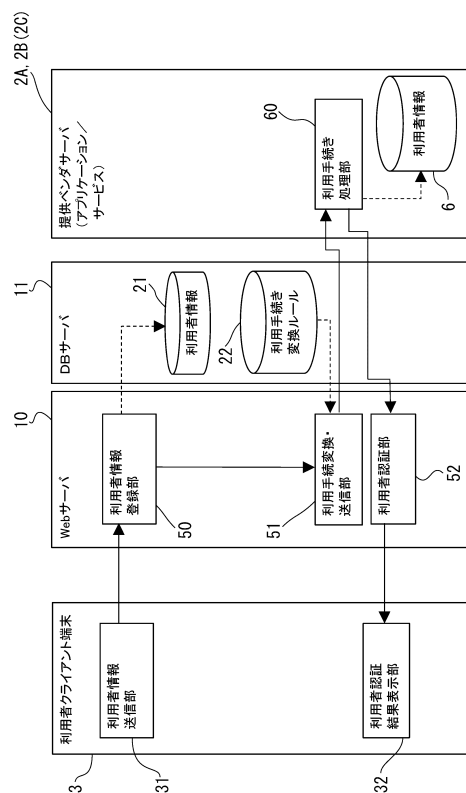
各種アプリケーション、コンテンツ、サービスの提供ベンダに対する個別の利用手続きや課金処理を含む手続きを簡略できるようにする。

ポータルサイトシステム 1 は、複数のベンダのサーバ 2 A、2 B、2 C と利用者のクライアント端末 3 とがネットワーク 4 を介して接続され、各ベンダが提供するアプリケーション、コンテンツ、サービスへ利用者を誘導する。利用者がアプリケーション、コンテンツ、サービスを選択した際、ベンダとの利用手続き処理を実行する。利用時は実績収集システム 4 1 が利用履歴を分析し、収集した利用実績に基づいてベンダに対する費用を算出する。

【図 1】



【図 2】



【図 3】

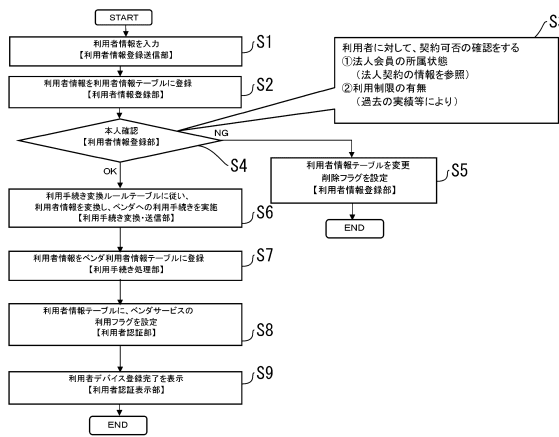


图3

【図 4】

項	利用者コード	利用者名	手続き情報①	手続き情報②	手続き情報③	手続き情報④ 暗号利用
1	TEST01	テストユーザ1	千葉	Android 4.1		
2	TEST02	テストユーザ2	東京	Android 4.1		
3	TEST03	テストユーザ3	神奈川	iOS 6.2		暗号利用
4	TEST04	テストユーザ4	高山	Android 2.3		-
5	TEST05	テストユーザ5	石川	Windows 8		-

所属会社名	サービス①	サービス②	サービス③	状態	解除フラグ
ABC社	未使用	使用	使用	開始手続き中	
AAA社	未使用	使用	未使用	利用中	
BBB社	使用	未使用	未使用	解除済み	
BBB社	使用	未使用	未使用	解除済み	
CCC社	使用	使用	未使用	解約手続き中	

ログイン日時	ログアウト日時	連続無応答コード	ログイン状態	利用開始日時	利用終了日時
2013/1/1 0:30	2013/1/1 1:30	91001324513	ログイン中	2013/1/1 0:30	
2013/2/2 0:30	2013/2/2 4:30	21324105531		2013/2/2 0:30	
2013/4/3 0:30	2013/4/3 5:30	21324101212	ログイン中	2013/4/3 0:30	
2013/5/4 0:30	2013/5/8 0:30	25130218411		2013/5/4 0:30	2014/4/23 13:14
2013/7/5 0:30	2013/7/6 0:30	12213548113		2013/7/5 0:30	

4. ☒ 4. ☒

【図 5】

項	アフリカ名	契約番号	元項目名	提供元(国)	項目	型別	桁数
1	AFLO1		1 手続者情報①	現住所(県)	文字列	255	
2	AFLO1		2 手続者情報②	年齢	数字	3	
3	AFLO1		3 手続者情報③	OS名	文字列	255	
4	AFLO2		4 手続者情報①	現住所(県)	文字列	255	
5	AFLO2		5 手続者情報②	年齢	数字	3	

5

【图 6】

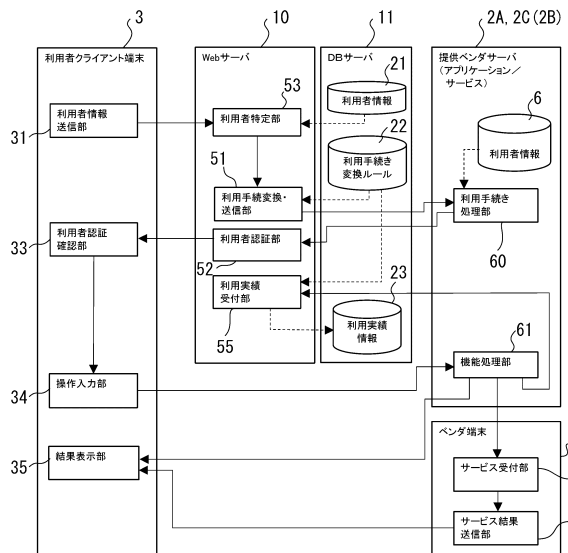


图6

【図 7】

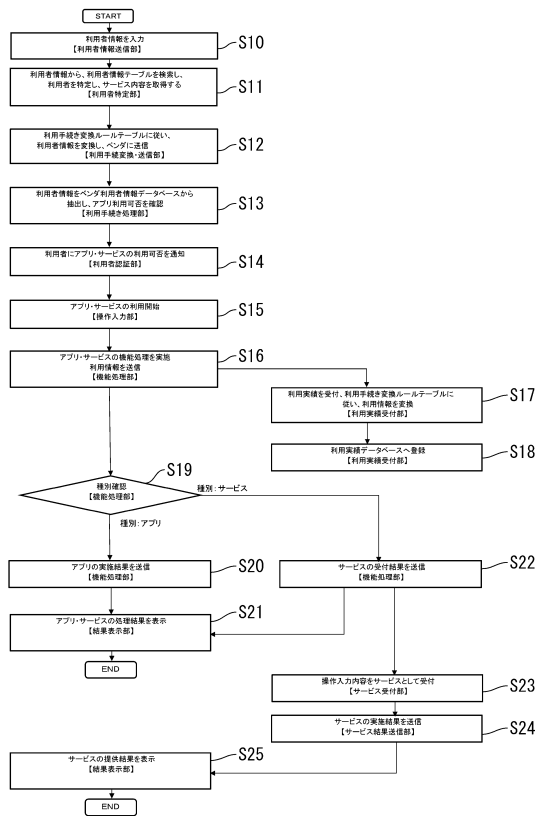


図 7

【図 9】

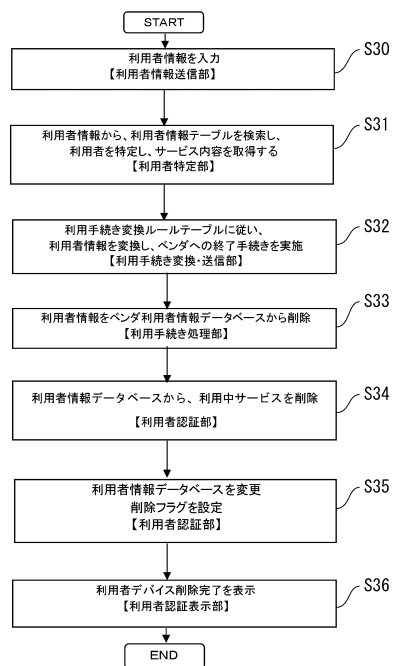


図 9

【図 8】

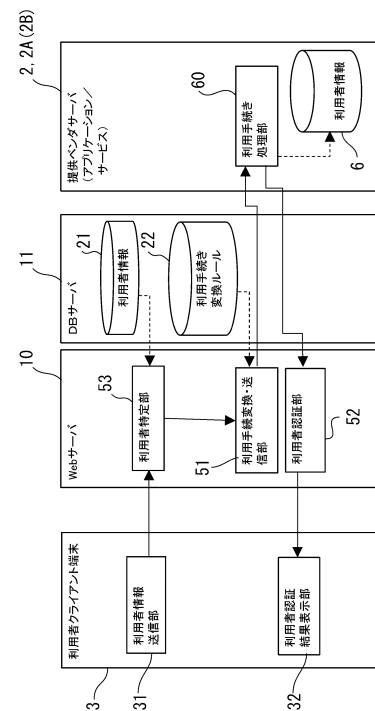


図 8

【図 10】

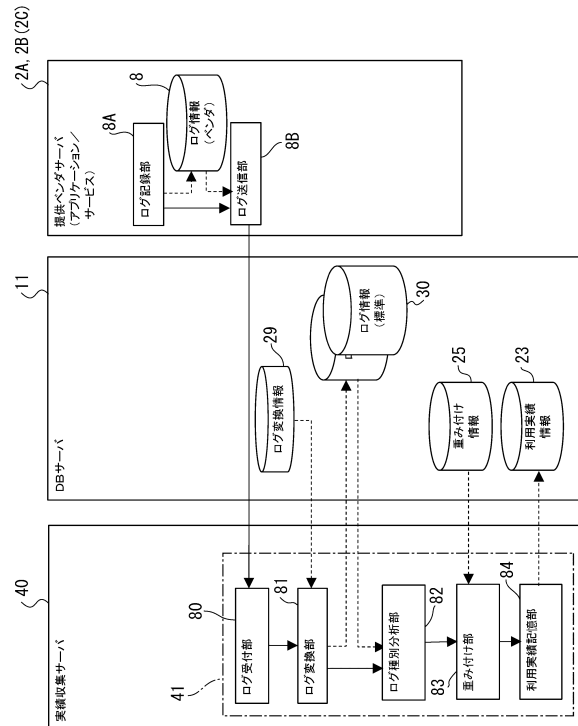


図 10

【図 1 1】

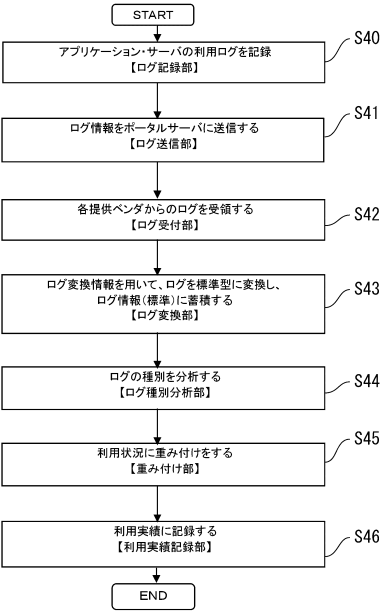


図 11

【図 1 2 A】

<ベンダ>アプリ① 書籍コンテンツ

項	利用者コード	書種名	原簿種別	ページ番号	参照時間	請求識別コード
1	TEST01	旅行 上海	参照	12	15:00	91001324513
2	TEST01	旅行 上海	ページ変更	13	5:15	91001324513
3	TEST01	旅行 上海	参照	15	5:15	91001324513
4	TEST01	旅行 上海	ページ変更	16	—	91001324513
5	TEST02	旅行 北京	参照	5	4:20	21321301212

開始日 2013.2/12 開始時刻 10:20:00 終了日 2013.2/12 終了時刻 10:20:00

2013.3/13 10:45:00 2013.3/13 10:45:00

2013.4/14 15:50:00 2013.4/14 15:55:15

2013.5/15 18:20:00 2013.5/15 18:20:00

2013.6/16 20:22:00 2013.6/16 20:26:20

図 12A

【図 1 2 B】

2016

＜ベンダ＞アプリ② 予約サービス

項	利用者コード	予約種別	処理番号	利用時間	請求識別コード
1	TEST01	上海旅行	参照	1500	515
2	TEST01	伊豆旅行	参照	3500	1500
3	TEST01	北海道旅行	旅行予約	3000	420
4	TEST01	北海道旅行	伊豆予約	3500	1500
5	TEST02	北海道旅行	参照	1500	621

開始日 2013.8/12 開始時刻 10:20:00 終了日 2013.8/12 終了時刻 10:25:15

2013.9/13 15:50:00 2013.9/13 15:55:15

2013.10/11 15:50:00 2013.10/11 15:04:20

2013.12/1 18:20:00 2013.12/1 18:25:15

2013.12/15 20:22:00 2013.12/15 20:26:21

図 12B

【図 1 2 C】

<ベンダ>アプリ③ 情報提供アプリ

項	利用者コード	情報種別	サービス番号	利用時間	請求識別コード
1	TEST01	地図検索	参照	2000	110
2	TEST01	ゲーム	参照	1000	045
3	TEST01	観光案内	参照	3000	320
4	TEST01	観光案内	検索	4000	015
5	TEST02	ルート検索	参照	5000	020

開始日	開始時刻	終了日	終了日時
2013.4/2	9:20:00	2013.4/2	9:21:10
2013.5/10	11:00:00	2013.5/10	11:00:45
2013.6/10	13:15:00	2013.6/10	13:19:20
2013.6/20	14:20:00	2013.6/20	14:20:15
2013.7/20	18:35:00	2013.7/20	18:35:20

201c

図 12C

【図 1 3】

<ベンダB>アプリ② 予約サービス

項	利用番号コード	情報種別	処理種別	ページ番号	利用時間	請求識別コード
1	TEST01	上乗旅行	参照	-	5:15	9100324513
2	TEST01	上乗旅行	参照	-	5:45	9100324513
3	TEST01	上乗旅行	旅行予約	-	4:20	9100324513
4	TEST01	上乗引換し	参照	-	5:15	9100324513
5	TEST02	北京旅行	参照	-	9:21	21321301212

401b

図13

【図 1 4 B】

<ベンダB>アプリ③ 情報提供アプリ

項	利用番号コード	情報種別	処理種別	ページ番号	利用時間	請求識別コード
1	TEST01	地図検索	参照	-	1:10	9100324513
2	TEST01	ホテル	参照	-	0:45	9100324513
3	TEST01	観光案内	参照	-	0:15	9100324513
4	TEST01	観光案内	参照	-	0:15	9100324513
5	TEST02	ルート検索	参照	-	0:20	21321301212

401c

図14B

【図 1 4 C】

<ベンダC>アプリ① 予約サービス

項	利用番号コード	情報種別	処理種別	ページ番号	利用時間	請求識別コード
1	TEST01	上乗旅行	参照	-	5:15	9100324513
2	TEST01	上乗旅行	参照	-	5:45	9100324513
3	TEST01	上乗旅行	旅行予約	-	4:20	9100324513
4	TEST01	上乗引換し	参照	-	5:15	9100324513
5	TEST02	北京旅行	参照	-	9:21	21321301212

401a

図14C

【図 1 4 A】

<ベンダC>アプリ③ 情報提供アプリ

項	利用番号コード	情報種別	処理種別	ページ番号	利用時間	請求識別コード
1	TEST01	地図検索	参照	12	15:00	9100324513
2	TEST01	ホテル	参照	14	5:15	9100324513
3	TEST01	観光案内	参照	15	5:15	9100324513
4	TEST01	観光案内	参照	16	5:15	9100324513
5	TEST02	ルート検索	参照	31	4:20	21321301212

401a

図14A

【図 15】

項	アフリカ名	情報類別	処理種別	サービス番号	取引値	利用時間換算
1	アフリカ①	旅行・上陸	参照	—	2	1
2	アフリカ①	旅行・上陸	ページ変更	—	—	1
3	アフリカ①	旅行・上陸	参照	—	3	0
4	アフリカ①	旅行・北京	ページ変更	—	—	1
5	アフリカ②	上陸旅行・上陸	参照	1500	4	1
6	アフリカ②	上陸旅行・上陸	参照	1500	4	1
7	アフリカ②	上陸旅行・上陸	旅行予約	3000	1	0
8	アフリカ②	上陸引越し	引越し予約	3000	1	0
9	アフリカ②	北京旅行・上陸	参照	1500	1	1
10	アフリカ②	北京引越し	参照	3000	1	1
11	アフリカ②	北京旅行・上陸	旅行予約	1000	2	0
12	アフリカ②	北京引越し	引越し予約	3000	2	0
13	アフリカ③	地味探検	検索	20000	3	0
14	アフリカ③	チーム	参照	10000	4	1
15	アフリカ③	探検案内	参照	10000	2	0
16	アフリカ③	探検案内	検索	40000	2	0
17	アフリカ③	川・上陸探検	参照	50000	2	0

图 15

【図 16】

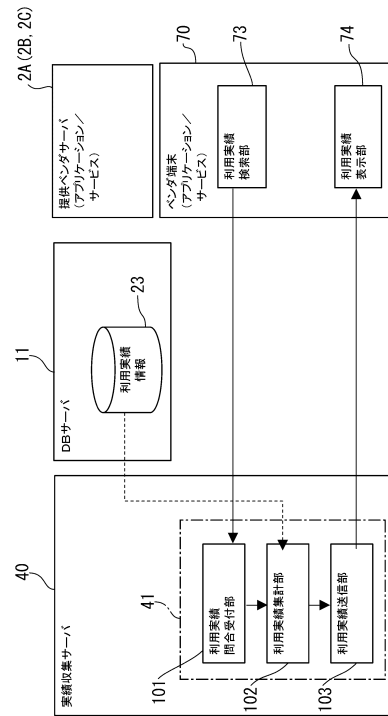


図16

【図 17】

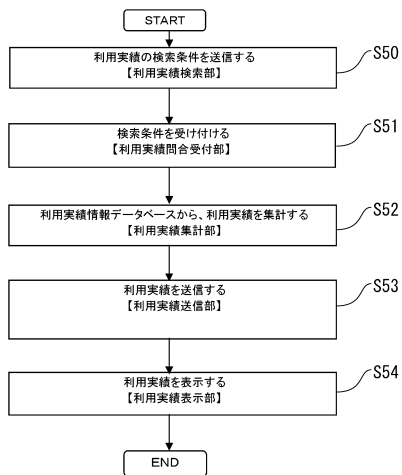
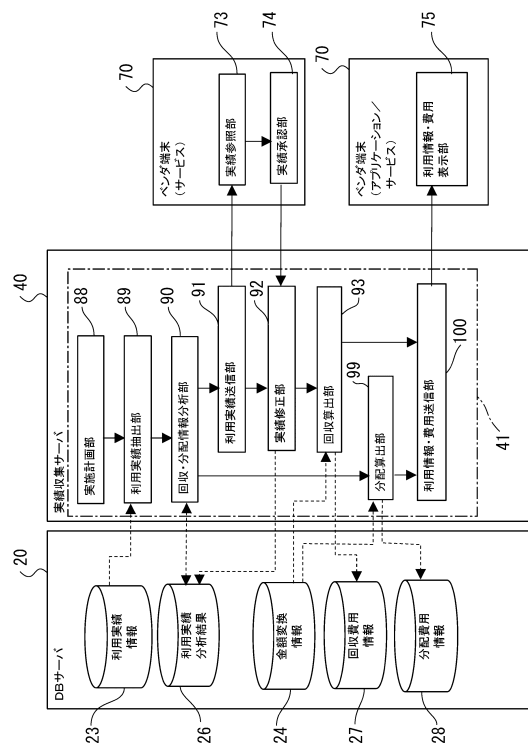


图17

【图 18】



18

【図 19】

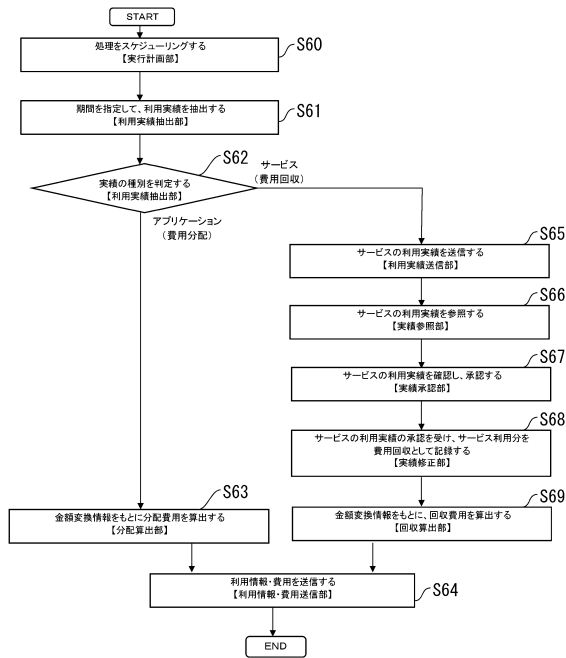


図19

【図 20】

60T										終了日	
項	利用コード	情報種別	処理種別	ページ番号	サービス番号	アプリ名	標準コード	開始時刻	終了時刻		
1	TEST01	旅行・上海	参照	12	102000	アプリ①	91001324513	2013/3/12	2013/3/12	10:20:00	10:20:00
2	TEST01	旅行・上海	参照	14	104500	アプリ①	91001324513	2013/3/13	2013/3/13	10:45:00	10:45:00
3	TEST01	旅行・上海	参照	15	155000	アプリ①	91001324513	2013/4/14	2013/4/14	15:55:15	15:55:15
4	TEST01	旅行・北京	参照	16	182000	アプリ①	91001324513	2013/5/15	2013/5/15	18:20:00	18:20:00
5	TEST02	旅行・北京	参照	5	202200	アプリ①	91001324513	2013/6/16	2013/6/16	20:26:20	20:26:20
6	TEST01	上海旅行	参照	1500	102000	アプリ②	91001324513	2013/8/12	2013/8/12	10:25:15	10:25:15
7	TEST01	上海旅行	参照	3000	104500	アプリ②	91001324513	2013/9/1	2013/9/1	11:00:00	11:00:00
8	TEST01	上海旅行	参照	3000	104500	アプリ②	91001324513	2013/10/11	2013/10/11	15:04:20	15:04:20
9	TEST01	上海旅行	参照	3000	104500	アプリ②	91001324513	2013/12/15	2013/12/15	18:25:15	18:25:15
10	TEST02	北京旅行	参照	1500	202200	アプリ②	91001324513	2013/4/2	2013/4/2	20:26:20	20:26:20
11	TEST01	地図検索	参照	20000	100000	アプリ③	91001324513	2013/5/10	2013/5/10	11:00:45	11:00:45
12	TEST01	ゲーム	参照	10000	100000	アプリ③	91001324513	2013/6/10	2013/6/10	13:18:20	13:18:20
13	TEST01	乗換案内	参照	30000	400000	アプリ③	91001324513	2013/6/20	2013/6/20	14:20:15	14:20:15
14	TEST01	観光案内	参照	40000	500000	アプリ③	91001324513	2013/7/20	2013/7/20	18:35:20	18:35:20
15	TEST02	ルート検索	参照	50000	500000	アプリ③	91001324513	2013/7/20	2013/7/20	18:35:20	18:35:20

図20

【図 21】

70T										更新時刻	
項	ベンダ	アプリ	ポイント	対象年	対象月	対象日	更新時刻	更新時刻	更新時刻		
1	ベンダA	アプリ①	500	2013	4	2013/3/12	10:20:00	10:20:00	10:20:00		
2	ベンダA	アプリ②	200	2013	4	2013/3/13	10:45:00	10:45:00	10:45:00		
3	ベンダA	アプリ③	130	2013	4	2013/4/14	15:55:00	15:55:00	15:55:00		
4	ベンダB	アプリ④	5000	2013	4	2013/5/15	18:20:00	18:20:00	18:20:00		
5	ベンダB	アプリ⑤	400	2013	4	2013/6/16	20:26:20	20:26:20	20:26:20		
6	ベンダC	アプリ⑥	200	2013	4	2013/8/12	10:25:15	10:25:15	10:25:15		
7	ベンダC	アプリ⑦	300	2013	4	2013/9/1	11:00:00	11:00:00	11:00:00		
8	ベンダC	アプリ⑧	900	2013	4	2013/10/11	15:04:20	15:04:20	15:04:20		
9	ベンダC	アプリ⑨	30	2013	4	2013/12/11	18:20:00	18:20:00	18:20:00		

図21

【図 22】

80T										対象月	
項	種別	ポイント	換算レート	対象年	対象月	対象日	対象日	対象日	対象日		
1	分配	10	500	2013	4	2013	2013	2013	2013		
2	回収	100	200	2013	4	2013	2013	2013	2013		

図22

【図 2 3】

項	ベンダ	アプリ	ポイント	対象年	対象月	金額
1	ベンダA	アプリ①	500	2013	4	1000
2	ベンダB	アプリ⑤	400	2013	4	800
3	ベンダC	アプリ⑧	900	2013	4	1800
4	ベンダC	アプリ⑨	30	2013	4	60

図23

【図 2 4】

項	ベンダ	アプリ	ポイント	対象年	対象月	金額
1	ベンダA	アプリ②	200	2013	4	10000
2	ベンダA	アプリ③	130	2013	4	6500
3	ベンダB	アプリ④	9000	2013	4	29000
4	ベンダB	アプリ⑥	20	2013	4	1000
5	ベンダC	アプリ⑦	300	2013	4	15000

図24

【図 2 5】

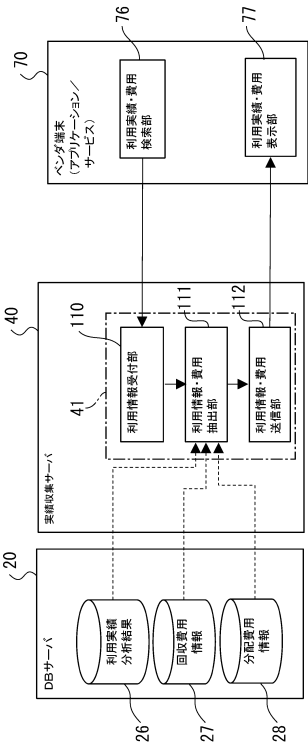


図25

【図 2 6】

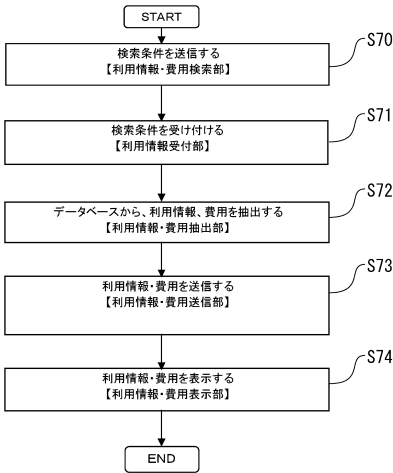


図26

フロントページの続き

- (72)発明者 高森 浩信
東京都品川区大崎一丁目2番1号 株式会社日立システムズ内
- (72)発明者 田中 太郎
東京都品川区大崎一丁目2番1号 株式会社日立システムズ内
- (72)発明者 国生 智彰
東京都品川区大崎一丁目2番1号 株式会社日立システムズ内

審査官 宮地 匡人

- (56)参考文献 特開2002-182764 (JP, A)
特開2003-058674 (JP, A)
特開2002-091597 (JP, A)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
G06Q 10/00-50/34